

『人命救助、最後の砦』

きただ じゅんいち

枚方東消防署 警備課 本署 救助担当 消防士 北田 純一(24)

《業務内容》

私が配属されている特別救助隊は、火災や交通事故はもちろん、水難事故や大規模災害など、全ての災害に「人命救助の最後の砦」として対応する小隊です。災害はいつ発生するかわからないため、私たちは様々な事案を予測し準備することを怠りません。「人を助けることは、簡単なことではない」という思いを常に持ち、日々、過酷な訓練に取り組んでいます。

私自身、過酷な訓練を行っている中で自分に負けそうになることがあります。しかし私たちは救助隊であり、人命救助の最後の砦なのです。決して諦めるわけにはいきません。私は、自分の家族が被災した場合に、どのような救助隊員に助けてもらいたいかを考えるようにしています。本当の優しさを持つことが、人を助けることだと経験を積むたびに感じています。

救助隊は様々な想いを共有し、共通の認識をもった家族のような存在です。一人では、乗り越えられないことも強靱なチームワークで対応しています。これからも、私たち救助隊は準備を怠ることなく市民の安全と安心を守り抜きたいと考えています。



《仕事に対するやりがい》

私たち消防は、市民の生命・身体・財産を守るべく過酷な訓練をしています。その中で火災をはじめ、緊迫した様々な災害現場に出動してきました。時には、辛い気持ちになることもあります。しかし、災害現場で要救助者を救出し、安堵した笑顔に出会えると、本当に「消防という仕事を選んで良かった」と実感します。

また、災害現場から消防署へ帰っている時などに、消防車両を見て手を振ってくださる市民の方々がいます。そのように応援してくださる市民の方々を見ると、とても嬉しい気持ちになり、また訓練や業務を頑張ろうという気持ちになれます。そして、救助隊では共に汗を流し、笑いあう仲間がいるため、非常に強い絆が生まれていきます。私は人命救助という仕事を誇りに感じています。救助隊には知識・技術・体力・強い気持ちと本当の優しさが必要です。今後も妥協することなく救助業務を追及して一人でも多くの市民を守っていきます。

